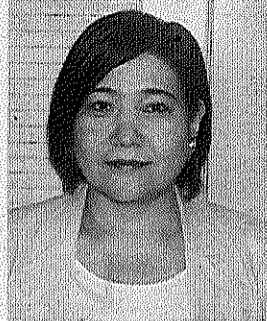


日本の含み資産

女性の活躍支援

5



連合会長代行 NHK労連議長 岡本 直美

昨年開かれた連合の定期大会で、私は女性初の会長代行になった。連合では現在、女性の中央執行委員8人のほか、私と副事務局長、常任2人を含め、指導的立場に立つ女性は12人となり、全体の25%を占めている。

こつとした女性が増えるにつれて、これまで女性たちが疑問としてきた問題、例えば、諸手当の世帯主要件に伴う女性の不利益扱いや、転勤を伴わないと昇進できない人事制

平等参画を明記すること、女の役員と意見交換をすること、女性組合員比率の女性役員を配置すること、女性役員ゼロ組織をなくすことを掲げているが、直近のデータでは、連合の構成組織の女性組合員比率は30・3%なのに対して、女性役員比率は7・4%で、01年以降は横ばいの状況が続いている。

労働組合における女性の活躍を支援するためには労働者の意識と業務の進め方が変わる事が重要だ。

職場レベルの組合の会議は、業務終了後になり、会議も長時間に及ぶことが多い。また、夕食を兼ねて、他労働組合のため何か手伝わす気にはならない。

NHK労連では女性組合員比率19・2%に対し、女性役員比率は27・6%に達している。労働参下の日放労(日本放送労働組合)で1985年からは、業務終了後に、会議も長時間に及ぶことが多い。また、夕食を兼ねて、他労働組合

客観的に経営状況を分析し、組合員にも納得できる要求を掲げ、どうしたら経営側を動かせるかを考え、何と伝え、男性と同様に口説いてみたらどうだろうか。

働く女性が不満に思っていることを、組合の幹部を説得し、要求を組み立てる部署に伝えることが重要だ。

「なぜあなたにならなくてもいいか、どんなことをやらなければならないか、どんなことをやらなければならないか」をきちんと言ったネットワークを意識して構築してほしい。

「ワーキングウーマン・パワーアップ会議代表幹事」

労組役員に女性の積極登用を